

第2回
JR行田駅前広場周辺再整備
基本計画検討委員会

ワークショップ開催速報

平成26年11月18日

目次

1. ワークショップ開催概要
2. 第1回ワークショップの概要
3. 第2回ワークショップの概要

1. ワークショップ開催概要

駅利用者や地域住民、周辺事業者等、幅広い意見を計画策定に反映するため、市民参加型のワークショップを開催し、地域の課題や駅前広場の整備方針について検討を行う

■参加者（40名）

- ・市民（公募）
- ・太井地区にお住まいの方
- ・対象地区周辺の事業者
- ・商業・観光関係者
- ・ものづくり大学

■開催スケジュール

日程	検討内容
10/7（開催済） 第1回ワークショップ	・ワークショップの目的と進め方について意識共有 ・地域概要（各種調査結果）について報告し、対象地区や駅前広場の現況等について意見交換を行い、課題と今後の方向性を整理
10/24（開催済） 第2回ワークショップ	・第1回WSにおいて抽出された対象地域の課題に対して、他都市の駅前広場の整備事例を紹介しながら、駅前広場整備における必要な機能の重要度や配慮すべきことなどについて意見交換を行い、整備コンセプトを整理
11/14（開催済） 第3回ワークショップ	・第2回WSにおいて検討した整備コンセプトや必要な機能をもとに、駅前広場の配置計画を検討し、駅前広場整備イメージ（案）を作成する（グループごとに案作成）
11/28 第4回ワークショップ	・第3回WSにおいて検討された駅前広場整備イメージ（案）をもとに作成した駅前広場整備方針（案）（まとめ）について、意見交換し、市民提案としてまとめを行う

2. 第1回ワークショップの概要

◆第1回ワークショップ（参加人数：37名）

《第1回ワークショップの目的》

駅前広場の現況・課題について意見交換を行い、整理する

テーマ①：JR行田駅前広場周辺の現状をどう思いますか？

テーマ②：これからのJR行田駅前広場周辺をどうするとよいでしょうか？

◆対象地区のまちづくりについて

【周辺の土地利用】

《問題点》

- ・商業施設、飲食店等がない
- ・駐車場が多く、賑わいがない
- ・長年に渡り、変化（開発）がない
- ・ゴミが多い
- ・文化施設がない

《方向性》

- ・商業施設や飲食店の整備
- ・行政施設、図書館等の文化施設などの整備
- ・市有地や駐車場などの土地を活用
- ・対象地区周辺の土地利用と機能分担

【景観について】

《問題点》

- ・街路樹の手入れが出来ていない

《方向性》

- ・街路樹の整備・保全
- ・緑道ネットワークの形成

【県道行田停車場線について】

《問題点》

- ・歩道が一部未整備
- ・交差点が危険

《方向性》

- ・歩道の拡幅
- ・市道に移管した上で整備

2. 第1回ワークショップの概要

◆ 駅前広場周辺について

【歩行空間、車両走行空間】

《問題点》

- ・歩行者が車両走行空間に進入し危険
- ・送迎車両が多く混雑する
- ・ロータリーが狭く、自家用車が車道で待機する
- ・県道からの動線が悪い

《方向性》

- ・歩行空間と車両走行空間の分離、明確化
- ・公園の移設も視野に、駅前広場面積を拡張
- ・安全性の確保
- ・バリアフリーに配慮

【駐輪場について】

《問題点》

- ・駐輪場が狭い、遠い
- ・駐輪場に屋根がない

《方向性》

- ・駐輪場の利便性向上
- ・壱里山公園の土地を活用した立体駐輪場

【公共交通について】

《問題点》

- ・バスの運行便数が少ない、運行経路が悪い
- ・タクシーの待機車両が少ない
- ・バス乗り場まで屋根がない

《方向性》

- ・バスの利便性、アクセス性向上
- ・タクシーの利便性向上
- ・バス・タクシー乗り場までの屋根整備

【休憩施設について】

《問題点》

- ・休憩する場所がない
- ・喫煙所がない

《方向性》

- ・休憩・喫煙スペースの確保

2. 第2回ワークショップの概要

◆第2回ワークショップ（参加人数：31名）

≪第2回ワークショップの目的≫

具体的な取組メニューについて意見交換を行い、対策方針を整理する

テーマ①：JR行田駅前広場周辺のコンセプトは？

テーマ②：整備や配置を検討する際に配慮すべきことは？

◆JR行田駅前広場周辺のコンセプト

A班：広域的にみんなが便利！

…まずは駅機能（交通処理機能や行政サービス等）を強化、さらに活性化に向けて、玄関口としての機能（商業サービス、公園、休憩施設等）を強化

B班：人にやさしく安全・便利な行田駅

…駅前広場全体を公園化し、行田の歴史や文化が感じられる交流空間、安全で安らぎや利便性のある駅前広場として整備

C班：観光都市行田

…地域住民が利用しやすい駅前広場を整備するとともに、土産物屋や飲食店などの商業施設等を併設し、観光客も利用しやすい駅前広場を整備

D班：地域住民にとって使いやすく、来訪者の人が集まれる行田駅前広場

…地域の人々が求めるもの（お年寄りの利便性、雨の日の利便性等）に加え、来訪者が求めるもの（観光案内機能、商業機能、休憩機能等）を整備

2. 第2回ワークショップの概要

◆整備や配置を検討する際に配慮すべきこと

	A班	B班	C班	D班
基本的な交通処理機能	<ul style="list-style-type: none"> 交通処理機能を優先的に整備 ⇒特に重要な機能 車両走行空間、歩行空間、自家用車待機場 バスは便数増加が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 安全性を確保した歩行空間の整備が優先 バスは路線の充実が必要 バス、タクシー乗降場は立体化も視野に検討 	<ul style="list-style-type: none"> 歩行空間、車両走行空間の整備が優先であり、歩行空間は屋根があった方が良い バス・タクシー乗降場は駅舎に近い方が良い 観光地を結ぶようなバスルートが必要 	<ul style="list-style-type: none"> バスや自家用車乗降場、歩行空間、タクシー乗降場の整備が優先
付加的機能	<ul style="list-style-type: none"> 交通処理機能による活性化に合わせ、駐輪場を整備 	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場は優先的に整備 	<ul style="list-style-type: none"> 駐輪場・駐車場は現状の位置、規模で良い 	<ul style="list-style-type: none"> エレベーター等、お年寄りにも優しい機能が必要 雨の日にも利用しやすいなど、地域の人が求める機能が必要
環境空間機能	<ul style="list-style-type: none"> 行政サービスを優先的に整備 ⇒支所機能 (住民票※近隣市町分を含む) 子育て支援、図書館、生涯学習施設、集会所 コミュニティスペース 行田をイメージできるモニュメントの設置 その他 ⇒商業サービス、公園 送迎者用の休憩施設 	<ul style="list-style-type: none"> 商業サービスや観光案内所は複合施設等により、出来るだけ駅近くに設置した方が良い 植樹帯は管理が大変なため、整備にあたっては管理体制を整える その他 ⇒公園、休憩施設、憩いの広場 	<ul style="list-style-type: none"> 複合施設としての整備がベスト 商業サービスや観光案内所を優先的に整備 ⇒観光案内所は暗い、向きが悪い ⇒商業サービスはお土産屋、飲食店、コンビニ等 行政サービス ⇒住民票、印鑑証明等 	<ul style="list-style-type: none"> 商業サービスや観光案内所を優先的に整備 ⇒商業サービスはお土産屋、飲食店、宿泊ホテル等 防犯に配慮し、照明等を整備 公園ではフリマやB級グルメ等のイベントを開催 その他 ⇒休憩視閲、モニュメント、喫煙所